



経営上のお悩み、相談しませんか？

「よろず支援拠点」は、国が平成26年度から全国に設置している無料の経営相談所です。中小企業の皆様の売上拡大や経営改善等、経営上のあらゆるお悩みに対応します。

LINEによる処方せん受付を導入 コロナ禍でも、お客様の安全確保と集客の両立を実現

1. 相談のきっかけ

いの町天王ニュータウンにある「みなみ薬局」は創業22年の調剤薬局。処方せんによる保険調剤、ロキソニン等の一般用医薬品をはじめ、アロマ(香りの機能を紹介)や体にいい食品を取り扱っている。代表取締役の濱田雅代さん(管理薬剤師)が、訪問薬剤管理指導や地域の学校薬剤師、認知症サポーターとして、いの町民の健康を見守る役割を担い、気軽に立ち寄れる「地域の保健室」を目指して活動をしている。

常連のお客様が多いものの、最近は周辺にドラッグストアや競合店も増え、さらに慢性的な人手不足により、SNS等を活用した集客や業務効率化を検討していた。しかし、社内にネットに詳しいスタッフがおらず、困っていたところ、当拠点で、Web活用のアドバイスを受けられると知り、令和2年春から相談することになった。

2. 課題におけるアドバイス

まずは、地域密着店舗に必須とも言えるGoogleマイビジネスの活用を支援し、ネットでの認知度を上げる施策から始めた。次に、リピーターやファンづくりのため、LINE公式アカウントを開設。スタンプカード導入や体にいい商品情報などを配信。

しかし、友達登録数が増えず、改善策を模索していたところ、同社がコロナ対策として検討していたLINEによる処方せん受付の導入を決定。当拠点のサポートを受けながら運用開始した。

すると、伸び悩んでいたLINE友達登録も約2倍になり、利用するお客様にも好評で、新規顧客も少しずつ増えている。コロナ禍で、お客様・スタッフの健康と安全が最優先の薬局で、密を防ぐ取り組みと集客の両立という課題をSNS活用でクリアした。

今後はさらに新規顧客増を目指し、SNSと折り込みチラシを組み合わせた集客や、地域の伝統産業「土佐和紙」とコラボした新サービスも計画中である。



対応者の一言

ネットでの情報発信初心者の同社のペースに合わせ、取り組みやすいツールから導入し、少しずつネットの専門知識や情報発信のノウハウを蓄積しながら、新規顧客の獲得を目指しました。規制の多い業種ですが、常に新しいことにチャレンジしてきた同社の経営努力がさらに実を結ぶよう、ともに悩み、考えながら支援を続けていきたいと思ひます。

コーディネーター 山本 久美子

相談者の声

コロナ禍で、安心して経営を続けていくために、LINE処方せん受付は、患者様の利便性や安全を確保するために実現したいと思っていました。接客や調剤業務で忙しいなか、何から手をつけて良いかわからなかったのですが、LINE公式アカウントをはじめSNSの導入から運用までサポートしていただき、本当に助かりました。



有限会社ファイン みなみ薬局

〒781-2123 吾川郡いの町天王南1丁目5-4
TEL:088-850-1001
HP:<https://www.minami-fine.net/>



【お問い合わせ】(公財)高知県産業振興センター内 高知県よろず支援拠点

- 〒781-5101 高知市布師田3992-2 高知県中小企業会館5階
- 常設拠点での相談時間：8:30～17:00(土日・祝日、年末年始を除く)
- TEL:088-846-0175 □ FAX:088-855-3776 □ Mail: yorozu@joho-kochi.or.jp

高知県よろず

Q検索

高知県よろず
支援拠点HP→

